

## 松尾隆教授への献辞

総合管理学部長 澤田道夫

松尾隆先生は、1984年に九州大学大学院経済学研究科博士課程を修了後、同大経済学部助手を経て1985年に本学の前身である熊本女子大学の生活科学部講師として着任されました。その後、1988年4月に生活科学部助教授、94年4月から熊本県立大学総合管理学部助教授、2003年4月からは教授として、38年間の長きにわたり総合管理学部の発展のためにご尽力いただきました。また、2012年4月から2014年3月までの間、学部長をお務めいただき、学部を牽引していただいたところです。2022年3月末日付で定年退職されるにあたり、松尾先生のこれまでのご貢献に対して感謝の意を表し、記念号を捧げます。

松尾先生のご専門は貨幣・金融論と経済思想です。ご自身の研究のため、経済学の先進国である米国において1992年8月から1993年7月まで在外研究も行われています。中でも米国の経済学者アレン・ヤングに関する研究に積極的に取り組まれ、その成果は研究書『アレン・ヤングの経済思想—不確実性と管理の経済学—』（ミネルヴァ書房、2012）に結実しています。また、これらの研究成果について、金融学会や経済学史学会などの部会において学会報告を行われました。このような先生の研究業績は、本学部および本研究科の評価を大いに高めたことは言うまでもなく、これまでの先生のご尽力に感謝する次第です。

先生は教育面についても熱心に取り組まれました。ご担当された「世界の経済」、「金融論Ⅱ」、「国際金融論」において専門的な知識を教授すると共に、ゼミ生の指導も行われ、学生から慕われておられました。このような成果はひとえに先生の人柄によるものであると思います。昨年からのコロナ禍においても、自ら遠隔授業の手法を工夫され積極的に取り組んでこられた姿が強く印象に残っています。

学内業務においても、これまで総合管理学部の様々な委員をお務めいただきました。特に、2012年4月から2年間、学部長の重責を担い、カリキュラム改革に先鞭をつけていただくなど多大なご貢献をいただいたこと、誠に感謝の念に堪えません。先生のご尽力を踏まえ、総合管理学部では2017年4月から新教育課程を開始することができ、2021年3月には当該カリキュラムの完成年度として最初の卒業生を社会に送り出すことができました。これらの学生達からは、本学における総合管理の学びや他者との協働、充実したゼミ活動について極めて高い評価をいただいたところです。これも先生のご苦勞のあつてのことと、改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、熊本女子大学以来 38 年の間、本学学生の教育と学部の発展のためにご尽力いただいた松尾先生に学部を代表して感謝の意を表するとともに、ご退職後のご健勝と更なるご活躍を切に祈念する次第です。松尾先生、長い間本当に御世話になりました。そして、お疲れ様でした。